



政府統計

報道関係者 各位

平成 26 年 2 月 13 日

【照会先】

大臣官房統計情報部人口動態・保健社会統計課

課長 小野 暁史

課長補佐 關 雅夫 (内線 7471)

死亡担当係 計析第一係 (内線 7470)

出生担当係 計析第二係 (内線 7472)

(代表電話) 03(5253)1111

(直通電話) 03(3595)2812

平成 20 年～平成 24 年

人口動態保健所・市区町村別統計の概況

厚生労働省では、このほど、「平成 20 年～平成 24 年人口動態保健所・市区町村別統計」の概況を取りまとめましたので公表します。

この概況では、国勢調査の年を中心とした 5 年間のデータについて、合計特殊出生率と標準化死亡比を市区町村別に取りまとめています。

【結果のポイント】

- 出生
 - ・合計特殊出生率を市区町村別にみると、1.3 以上 1.6 未満を中心に分布しており、この範囲に約 6 割の市区町村が含まれている(2 頁)。
 - ・鹿児島県伊仙町が 2.81 で最も高く、京都府京都市東山区が 0.77 で最も低くなっている(3 頁)。
- 死亡
 - ・標準化死亡比を市区町村別にみると、男性は神奈川県横浜市都筑区が 73.3、女性は沖縄県北中城村が 63.8 で最も低く、岩手県大槌町が男性は 192.4、女性は 212.7 で最も高くなっている(5 頁)。

※詳細は、別紙概況をご参照ください。